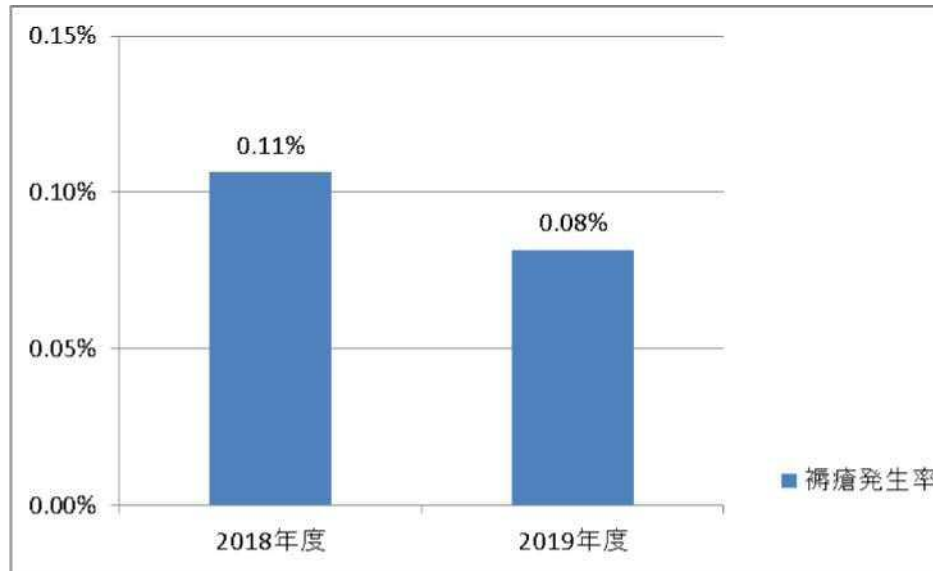


(5)褥瘡発生率

【指標の説明】

・褥瘡は、寝たきりなどの状態で皮膚が圧迫され循環障害を起こし、発生し「床ずれ」とも言われます。褥瘡の発生は、患者さんのＱＯＬ（生活の質）の低下・在院日数の増加等につながります。そのため、褥瘡予防は患者さんへ提供されるべき医療の重要な項目の一つとなります。当院では、その発生率を把握し、今後の予防対策へ繋げるよう努めております。



【定義】

$$\frac{\text{院内で新規発生の褥瘡患者数}}{\text{入院延べ患者数}} \times 100(\%)$$

※院内での新規発生に限定した集計とし、以下の場合除外とする。

< 日帰り入院・入院時にすでに褥瘡が存在されていた患者・調査期間より前に褥瘡が院内発生している患者 >